

# ERIKA



DOJIN  
**R18**  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止

# ERIKA

Auf der Heide blüht ein kleines Blümlein,  
und das heißt - Erika.

Heiß von hunderttausend kleinen Bienelein  
wird umschwärmmt - Erika.

Denn ihr Herz ist voller Süßigkeit,  
zarter Duft entströmt dem Blütenkleid.  
Auf der Heide blüht ein kleines Blümlein,  
und das heißt - Erika.



高校時代  
常夫さんの下で整備を  
学んだ俺は黒森峰学園に  
長らく世話になつた

その頃  
いつも西住まほさんが  
傍に居た彼女のことが  
気になつていた

後先考らず告白し、  
思いっ切りフラれてしまった

そんな彼女が  
3年生になり  
黒森峰の隊長を務める  
ようになつた時  
決心が着いた俺は：

その後…

その後大学に進学した俺は  
お互い新入生だつた  
彼女と再会を果たすことになつた





これもまた西住流の  
縁起なのだろうか  
エリカとの恋愛は  
まもなくして結婚に至り  
その翌年子供まで  
生まれるようになり

今は西住家で  
働きつつ  
当主より授かった  
家で暮している

似合うよボコつ

お姉ちゃん  
これはどう?

買っ  
てよ  
かつた









エリカは  
エリカならではの  
やり方で自らの  
戦車道を貫いている

私達の戦果は  
全てエリカの  
戦術立案の  
おかげだ

これからも  
よろしく頼む  
エリカ

はい…











嘘…まだ  
出でるなんて



出すなら  
いなさいよ!!

まつた  
もうつく



エリカ!!

どんだけ  
溜まつてたのよ...



エリカ…

…何よ

もういいでしょ

退いて

早くドキナサイっ！

エリカはこれで  
良かつたのか

は～～あ！？

さつきより  
大きくなつてゐる……つ……

えつ!?

…見ろよ

俺のちんこ  
未だ治まらないんだ

エリカは寧ろ  
したくなかったのか?

医者さんももうしても  
良いって言つたじゃないか

しつ、  
知らないわよ……

エリカ…しょ?

ダメ…今は…

今すぐ…でも  
エリカ…したいんだ

もう判ってるよな

エリカを喜ばせようと

溜まりに溜まって

はち切れそうな

旦那のちんこをなあ

これなら絶対  
喜ばせるのになあ

ほら、もう皆寝てるからさ…  
一緒に気持ちよくなる?

無理よ…うつ

さつきから  
火照つて厭らしい匂い  
漂わせてるくせに…

出張中に  
どれ程我慢してたのか

もう我慢の限界なんだ

わか…  
落ち着いて…

そん…なつ…  
耳触んないでよ

やらてくれるの?

はー

エリカ…

はー!!

なあ、しょ?

エリカ…

はあー

はあ

心

クグググ  
えつ!!?





まほ隊長が  
こんな乱れた姿を見たたら  
どう思うだろうね

エリカは  
先輩の布団の傍で  
随分と漏らしながら  
お乳を噴き出す

汚らわしい女に  
成り果てたと

隊長に…?

だめっ

せい

今の乱れた姿  
見せてごらん

の一つ

ほれ

ヌキヌキ

ピク

ピク

ピク  
ピク

はむ

エリカ  
そんな大声出したら  
皆起きちゃうかも  
しれないぞ

これだけで  
いいちやう  
なんて

どんだけ  
イッてるのさ…

まだ寝てるよな

でもこれからが  
本番だからな♥

えつ!  
ちょつ…

ふえ?











この子には  
この子だけの道がある

いずれ自らの  
その道を歩めるようにな  
るでしょ



：親として、その入口に立てるまでそつと背中を押してあげるのみです



fin.



# 奥付

発行日: 8月11日

発行: SHIOHAMA

発行者: 反骨MAX

印刷:

TWITTER: CGORNOTCG

EMAIL: CGORNOTCG@GMAIL.COM

PIXIV: 1585286

この本は18歳未満の方は閲覧、購入できません

無断掲載、無断複製を禁止します

# 後書

こんにちは、反骨MAXです。

初めてお会いする方と、以前から私を知っている方々

皆さんにこの本を読んでいただき、ありがとうございます。

好きな作品を同人誌にすることはとてもいいことだと思います。

全てのキャラ達が魅力的でしょうが、どうしても私はその中ではやはり

黒森峰のエリカが一番好きです。冬にもガルパンの本を描くつもりです。

足りない部分が多い本でしょうが、

次の本でもお会い出来ればいいなと思います。

これからもどうぞ宜しくお願ひします。





# ERIKA

Auf der Heide blüht ein kleines Blümlein,  
und das heißt - Erika.  
Heiß von hunderttausend kleinen Bienelein  
wird umschwärm - Erika.  
Denn ihr Herz ist voller Süßigkeit,  
zarter Duft entströmt dem Blütenkleid.  
Auf der Heide blüht ein kleines Blümlein,  
und das heißt - Erika.

# ERIKA

## エリカ